

令和4年度事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 31 日

公益財団法人 致道博物館

令和5年6月6日

概　況

令和4年度は新型コロナウイルス対策3年目となり、夏期に一時的な感染拡大がみられたものの、段階的な見直しが行われた。行動や経済活動の制限は緩和されたが、終息には至らず高齢者層には外出控えの傾向が続いた。このような状況下で、酒井家庄内入部400年記念の年にあたり、関連事業を多く実施した。下記のとおり報告する。

公益目的事業1の重点事業(1)重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)は令和2年度からの国庫補助による応急的な耐震設計を含んだ災害復旧工事で、昨年5月末で事業が終了した。その後、漆喰壁の乾燥期間を設けLED照明器具への交換工事を行った。令和5年度中に公開予定で準備を進めている。重点事業(2)酒井家庄内入部400年記念事業では鶴岡市を主体とする庄内入部400年記念事業実行委員会と協力し、「酒井家世紀」の翻刻刊行や旧庄内藩主御隠殿の常設展示一部リニューアル、市街地周辺にぎわい創出事業等を行った。重点事業(3)鶴岡市文化資源調査事業では、9月に『御世紀』の翻刻本を刊行した。保存管理事業では、例年と同様に指定文化財建造物の外壁ペンキ塗装や屋根の差し茅などの小修理、庭園の除草清掃、樹木剪定整姿、雪吊り雪囲いなどをを行い、状況に応じて博物館資料の適正な保存管理に努めた。また、教育普及事業では、参集規模の大きい合同茶会を中止したが、3月には3年ぶりに東京友の会の集いを行い75名の参加があった。土曜講座や古文書講習会等を開催し延べ465名が参加受講した。

公益目的事業2の展示事業では、企画展10件(内、山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催9件)、個展・グループ展1件、ロビー展2件の展覧会を実施した。併せてギャラリートークや講演会、実演なども感染対策を施し参加者を制限しながら実施した。特に4月～12月までは庄内入部400年記念展として5部構成で特別展を行った。主な展覧会の入館者数は4～5月の「徳川四天王筆頭・酒井忠次」展7,388名(168名/日)、6～7月「中興の祖・酒井忠徳と庄内藩校致道館」5,450名(114名/日)、7～9月「民衆のチカラ展」4,795名(100名/日)、9～10月「藩祖・酒井忠勝」8,961名(172名/日)、11～12月の「酒井家の明治維新」5,057名(101名/日)であった。なお、酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会による歴史シンポジウムや歴史講演会が、10月には庄内大祭が行われた。また、昨年に引き続き文化庁「ARTS for the future2!」の採択を受け、御隠殿のテーマ展示やイベントなど、400年記念事業の充実を図った。この他、今井アートギャラリーでの「酒井家資料展」への展示協力、刀剣乱舞ONLINEとのコラボ企画や市内の飲食店・菓子店の協力を得て「城菓飯めぐり」イベントなども行った。新たに2月～4月までは日本遺産関連で鶴岡市・にかほ市・由利本荘市との3市連携交流企画展「北前船」を開催し、好評を博した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症蔓延による入館者数への影響があり、入館者総数が37,998名(前々年比約154.7%、前年比約137.5%)となった。

公益目的事業3は鶴岡市から指定管理者の指定を受けた保存活用事業で、平成25年度からの国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)、及び大宝館の施設保存管理、展示、普及教育事業等を実施した。旧致道館では教育体験講座をはじめ、庄内入部400年記念で致道館文化振興会議と共に「論語素読検定」を実施、また学校の課外授業等で56件948名の施設利用があった。大宝館では庄内入部400年記念企画展「酒井忠明展」や関連夏休みイベント等を実施し好評を博した。また、広報活動として昨年8月よりtwitterの公式アカウントを開設し、日々情報発信を行っている。

最後に、今年も鶴岡市三井家及び宇治家他、篤志家より雛人形や書画・陶磁器類・刀剣等多数の美術工芸品を寄贈いただき深謝申し上げるとともに、今後の展覧会にて公開予定である。また、長年ご支援・ご指導いただいた武藤幸規氏(東京・11月)、川崎利夫氏(鶴岡・3月)が逝去された。心から哀悼の意を表するとともに、酒井家庄内入部401年に向けての関連企画特別展の実施などでコロナ禍以前の日常生活の復活を祈念する。

1. 公益目的事業1 (事業の内容～歴史的な郷土資料や文化財等の博物館資料を調査収集、研究、保管、修復し、一般公開のための展示や教育普及活動を行う事業)

1-1 重点事業

(1) 重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)

令和元年6月18日に発生した山形県沖地震（M6.7、最大震度6弱、鶴岡市街地：震度5弱）により、被害を受けた旧西田川郡役所において、翌2年度から文化庁の指導に基づき国庫補助事業として災害復旧工事に着手した。令和2年度は耐震診断を、翌3年度から4年5月末まで応急的な耐震補強を施した災害復旧工事を実施した（事業期間の延長と2416万円の増額、総事業費7369万円）。なお、5月15日には文化庁調査官が来館し、災害復旧工事の完了確認を行った。5月末に完成検査を実施し、災害復旧工事が終了した。その後、壁の乾燥とLED照明器具の設置を行った。

（2）酒井家庄内入部400年記念事業

本年は酒井家が元和8年（1622）に信州松代から庄内に入部して400年の記念の年に当たり、鶴岡市を主体とする酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会とも協力し、各種の事業を行った（なお、下記の公益事業-2も含む）。「酒井家世紀」（三好簾編著、明治43年。初代忠次～15代忠篤の事績）の翻刻発刊・頒布、地域の歴史を記した史料（酒井家伝来史料）の調査・整理・写真撮影、高校生学芸員体験、旧庄内藩主御隠殿の常設展示一部リニューアル、市街地周辺にぎわい創出事業として「城菓飯めぐり」イベントなども行った。また、酒井家庄内入部400年記念事業展示への作品貸出及び解説文等の作成・協力・打合せ等、東北電力グリーンプラザ、大宝館、今井アートギャラリー、ギャラリーなごみ（書の庵）通常の類似施設への作品貸出にとどまらない展示監修を含む展示協力及び準備作業を行った。

（3）鶴岡市文化資源調査事業

鶴岡市の補助事業として、公益性の高い文化資源を社会に還元するために、当館所蔵の歴史資料などを調査研究した。今年度は鶴岡市指定文化財『御世紀』の解読・点検・データ入力を実施し、出版に向けて校正・編集を経て9月に出版した。また『御世紀付録』他の解読・データ入力及び『出羽庄内酒井家文書目録』未収載の古文書約50点を写真撮影・解読整理した。

1-2 保存管理事業

（1）指定文化財の保存管理事業

①重要文化財建造物の保存管理

重要文化財旧西田川郡役所・同旧渋谷家住宅・同旧鶴岡警察署庁舎の防災設備（自動火災報知設備・消火設備・避雷設備）、電気設備等の保守点検、ペンキ部分塗装・差し茅などの小修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

②名勝酒井氏庭園の保存管理

除草・清掃、樹木の剪定・整姿・刈込、防（駆）虫剤散布、雪吊り・雪囲い、樹木用支柱の取替え修理を山形県・鶴岡市の補助を受けて実施した。

③国・県・市指定文化財の保存管理

絵画・工芸品・書跡・典籍・古文書・考古資料・歴史資料、重要有形民俗文化財など指定文化財の保存管理に万全を期するため、収蔵室の適正な環境保持、定期的な清掃、刀剣類などの手入れ等を実施した。

④史跡松ヶ岡開墾場内の一一番蚕室（松ヶ岡開墾記念館）の管理運営（入館者対応・建物内清掃業務等）につき鶴岡市教育委員会より委託を受け、通年で開館した（入館者状況は別紙資料を参照）。

（2）博物館資料の保存管理事業

①歴史的建造物等の保存管理

御隠殿・民具の蔵などの歴史的建造物や重要有形民俗文化財収蔵庫などの防災設備、電気設備の保守点検を実施した。

夜間の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。消防訓練を2回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。

②博物館資料の保存管理

博物館資料の維持管理として適正な環境保持、定期的な清掃、軸装・額装・冊子資料の補修・修理、手入れなどを実施した。また、寄贈申込みのあった資料や作品について適正な受け入れと資料台帳の整備を進めた。

③松ヶ岡施設の展示収蔵資料の保存管理

羽黒町松ヶ岡の松ヶ岡開墾記念館の資料収蔵や展示に協力した。

1-3 展示事業

(1) 常設展示事業

指定文化財や歴史的建造物などをを利用してテーマ別に常設展示している考古・歴史・民俗資料及び美術工芸品の一部を展示替え、説明板・キャプションの改訂を行った。

1-4 教育普及事業

(1) 講演会・講座事業 他

①公開講演会（日時・場所・内容）

令和5年3月4日(土) 於:タワーホール船堀(東京都江戸川区) 東京友の会の集い・講演会
講師 德川家広氏(徳川記念財団理事長) 「徳川幕府と庄内・東北」を開催し76名の参加。

②土曜講座（日時・講師・演題）

7月9日(土) 平林香織氏(創価大学教授)

「酒井忠徳と点取俳諧」

参加者 35名

8月6日(土) 杉山恵助氏(東北芸術工科大学准教授)

「表具師と文化財修復：世界に広がる日本の技」

参加者 35名

10月1日(土) 田中大輔氏(山形武道文化研究会)

「庄内藩の武芸」

参加者 27名

③中国古典講座

4月～12月の毎月7日 計8回開催予定であったが、開催を中止した。

④古文書講座「もんじょ部」

日時 5月～翌年3月まで月1～2回開催 計12回

内容 『出羽庄内酒井家文書目録』所収の古文書をテキストに古文書の読み方の解説や輪読、また当館所蔵文書の整理を行った。

講師 菅原義勝主任学芸員 受講生 6名 延出席人数 57名

⑤その他 館報「致道」60号(5,000部/令和5年2月発行)

(2) 伝統文化普及事業

① 各流合同茶会は各流の意向をふまえ、今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。

② 少年少女古典素読教室(鶴岡市中央公民館・致道館文化振興会議と共に)

5月28日～8月4日にかけて計15回 6月・7月の土曜朝8:00～8:40、8月初め夏休み6日間早朝5:40～6:20 15回開催 『論語抄』の素読 6/26 史跡文化財巡り(東田川郡役所・羽黒山と歴史博物館、松ヶ岡開墾場)

講師 水野貞吉氏・三矢正士氏・加藤徹三氏・富樫恒文氏・酒井英一氏・本間豊学芸部長
受講者 13名(幼稚園年長・小学1年生～同6年とその父母等) 延出席人数 120名

③「令和4年度東北文化の日推進事業」の参加(事務局 山形県県民文化スポーツ課内)

「東北文化の日」(10月最終の土・日曜日)に合わせ、10月30日～11月末日の土・日曜日の小中学生の入館料を無料とした。 参加数 計103名

- ④ 刀剣鑑賞会(日本美術刀剣保存協会庄内支部主催)及び庄内民俗学会の例会、及び姉様人形教室(庄内姉様人形保存会主催)の会場として会議室等を提供(4月～3月)。

(3) 教育啓蒙事業

- ①ボランティア解説員(展示品の解説)の活動 5月～11月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を中止したが、3月には行った。
- ②博物館学芸員の育成(実習生の受け入れ) 8月30日～9月4日
実習生／短期大学・大学の大学生 計4名
実習内容／美術工芸品(掛軸・巻物・刀剣など)の取り扱い、企画展展示・撤収作業、古文書資料の整理と保存、拓本技法、美術展の企画と著作権、近隣文化施設見学等
- ③先賢を偲ぶ会 令和5年2月19日(日)於:御隱殿
今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、札拝・講話・直会を中止したが、御隱殿の床の間に祭壇を設け、ハガキの案内者や一般見学者による自主的な拝礼のみとした。
- ④ 東京友の会の集い 令和5年3月4日(土)於:タワーホール船堀(東京都江戸川区)にて開催。(前出)
- ⑤ 博物館資料や郷土史関係等の相談助言(通年) 相談件数約50件
相談内容／書跡・古文書の解読や酒井家文書及び刀剣の保存などに関するこ
- ⑥ 庄内民俗学会・日本美術刀剣保存協会庄内支部など学術学会の活動に協力
- ⑦ 広報活動 文化財・博物館資料の啓蒙や各種事業の実施にあたっては、新聞・テレビ・地域情報誌などの報道機関や鶴岡市広報などに情報提供を行い、取材協力依頼に努めた。また、類似施設や市内各所へ広報印刷物を送付し、広報の協力を依頼した。新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット(ホームページ)などを活用して周知を図った。特にSNS(主にツイッター)を利用し、各種情報発信とともに、館の魅力を伝えることに努めた。

1-5 調査研究事業

- (1) 文化資源調査事業(前出)
- (2) 庄内地方の歴史資料・考古資料・民俗資料・美術資料の調査研究整理
- (3) 館蔵資料の調査研究への協力

2. 公益目的事業2 (事業内容～優れた美術作品の鑑賞や貴重な博物館資料を紹介する一般公開のための企画展示及び併せて関連する教育普及活動を行う事業)

2-1 展示事業

- (1) 企画特別展示事業(主催事業) 於:美術展覧会場・旧鶴岡警察署ホール
☆印:山形県・(公財)山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会共催、△印:日本美術刀剣保存協会庄内支部共催
①☆歴史の扉4 鶴ヶ岡城一守り、働き、暮らす拠点一
4月1日～4月10日 (10日間・展示は2/19からの継続事業)
入場者数:一般462名／児童生徒学生55名／合計517名
江戸時代、庄内藩の政庁として機能した鶴ヶ岡城。中世以来、庄内を治める中心として、何度も増改築が繰り返されてきた。本丸には藩主が居住し、三の丸およびその周辺には藩士が集住して仕事を行い、城下町を整備して町民の暮らしに寄り添った。「守る」「働く」「暮らす」をキーワードに歴史を掘り起こす機会とした。県文・鶴ヶ岡城道具渡目録、市文・鶴ヶ岡城襖絵「鶴図」ほか44点を出品した。本展は酒井家庄内入部400年記念プレ企画展として開催した。

- ② ☆酒井家庄内入部400年記念特別展【第1部】徳川四天王筆頭 酒井忠次 4月14日～5月29日(44日間)
入場者数:一般 6,205名／児童生徒学生 1,363名／合計 7,388名
酒井家興隆の礎を築いた初代・酒井忠次の事績を紹介。忠次は徳川家康の立身出世を支え、のちには「徳川四天王筆頭」と称された。本展では織田信長・徳川家康から拝領した国宝の太刀2振、重文の忠次所用色々威脅丸など美術工芸品や古文書や歴史資料から徳川重臣としての忠次の活躍を辿る展示とした。計63件(92点)を出品し、期間中にギャラリートークを開催した。岡崎市・磐田市より資料借用。
- ③ ☆酒井家庄内入部400年記念特別展【第2部】中興の祖・酒井忠徳と庄内藩校致道館 6月1日～7月18日(48日間)
入場者数:一般 4,619名／児童生徒学生 1,831名／合計 5,450名
庄内藩中興の祖・9代忠徳の事歴を辿る。幼くして当主となった忠徳の藩政改革、藩校致道館の創設や教育内容を紹介。また、様々な事績と驚きのエピソードや、和歌・俳諧資料や交友から、文化人としての側面にも着目する。主な出品として県文致道館祭器 楽器や藩校関連資料をはじめ自筆書画、刀剣など多岐に渡る資料を82件(220点)。ギャラリートークを実施した。
- ④ ☆酒井家庄内入部400年記念特別展【第3部】民衆のチカラ～三方領知替え阻止運動～ 7月22日～9月7日(48日間)
入場者数:一般 4,157名／児童生徒学生 638名／合計 4,795名
天保11年(1840)、幕府が命じた三方領知替え。酒井家の長岡移封を阻止するため、庄内の領民は大規模集会や江戸での直訴を繰り返すなど阻止運動を展開した。これら民衆のチカラがうねりとなって、日本全国に影響を与えた阻止運動の様相を、歴史資料や古文書から探る。主な出品として、鶴岡市文「夢の浮橋」(当館・酒井神社)、「四方喜我志満」(木間美術館寄託)など44件(112点)。期間中ギャラリートークを開催した。
- ⑤ ☆酒井家庄内入部400年記念特別展【第4部】藩祖・酒井忠勝 9月10日～10月31日(52日間)
入場者数:一般 7,599名／児童生徒学生 1,362名／合計 8,961名
3代・酒井忠勝は、元和8年(1622)に藩主として初めて庄内に入部した。最上家統治時代の流れを受け継ぎながら、領内の総検地、鶴ヶ岡城の整備や城下の町割り、新田開発を実施し、酒井家400年の基盤を整えた藩祖・忠勝の事績を紹介した。主な出品に重文短刀銘吉光、重文禅院額字「潮音堂」など55件(57点)。期間中、「刀剣乱舞-ONLINE-」とのコラボイベント、上林恒平刀匠による銘切プレート制作やギャラリートークを開催した。
- ⑥ ☆酒井家庄内入部400年記念特別展【第5部】酒井家の明治維新～戊辰戦争と松ヶ岡開墾～ 11月3日～12月25日(50日間)
入場者数:一般 4,202名／児童生徒学生 855名／合計 5,057名
幕府方として戦い抜いた戊辰戦争、明治の新たな時代の松ヶ岡開墾事業を紹介。酒井家の歴史にも焦点を当て、歴史資料や写真資料などから時代の転換期を紹介した。主な出品として「破軍星旗」(当館寄託で鶴岡市文・庄内藩第二番大隊長酒井玄蕃の大隊旗)や松ヶ岡開墾を描いた「凌霜帖」(松ヶ岡開墾場所蔵)、酒井忠篤・忠宝ドイツ留学関連資料など計93件(146点)。期間中に記念講演会やギャラリートークを開催した。
- ⑦ ☆新収蔵品展～刀剣・美術工芸品を中心～ R5.1月26日～3月12日(42日間)
入場者数:一般 2,059名／児童生徒学生 225名／合計 2,284名
近年寄贈された美術工芸品の中から、鶴岡出身の愛刀家・三矢宮松(1880～1959)旧蔵の脇指・短刀や、幕末に活躍した旧庄内藩士・石川家旧蔵の刀剣や書画を中心に出品。脇指額銘「恒光」、同銘「盛光」拵付、日下部鳴鶴筆七言対句、石川淡雲・淡水合作山水図屏風、石川静正の初期油絵など計44点(64点)を出品した。期間中、ギャラリートークを開催した。
- ⑧ ☆第29回鶴岡雑物語 3月1日～3月31日(31日間:展示は4/3までの継続事業)
入場者数:一般 3,205名／児童生徒学生 312名／合計 3,517名

城下町鶴岡に伝わる古典雛を広く紹介し、昔ながらの日本伝統行事や文化を再認識する。旧庄内藩主酒井家や市内旧家の江戸時代後期から大正時代にかけての雛人形や、大名家へのお輿入れで持参した雛道具を展観、併せて鶴岡市内の菓子店の協力によって当地方独特の雛菓子も一堂に展示、菓子職人の技を楽しみながら、子供の健やかな成長を願って開催し、計95件(約600点)を出品した。期間中、雛菓子づくりや「へんしんおひなさま」のイベントや、ギャラリートークも行った。

- ⑨ ☆花鳥風月 3月15日～3月31日(17日間:展示は4/23までの継続事業)
入場者数:一般 1,666名／児童生徒学生 265名／合計:1,806名
時に美しく、時に厳しく、四季折々の表情をみせる日本の風土。移りゆく自然美は、今も昔も画家たちを魅了する。本展では「花鳥風月」をキーワードに、館所蔵の花鳥画、風景画を中心に紹介する。主な作品に渡辺華山「芙蓉小禽図」、根上富治「春禽」、真嶋北光「鷄に梨花図」、金子八畝「花鳥図屏風」など計30件(31点)を出品した。

- ⑩ 鶴岡市・にかほ市・由利本荘市3市連携交流企画展「北前船」
3月15日～3月31日(17日間:展示は4/9までの継続事業)
入場者数:一般 3,598名／児童生徒学生 346名／合計:3,944名
※4/23まで入館者数 一般 4,257名／児童生徒学生 504名／合計:4,761名
日本遺産「荒波を超えた男たちの夢が紡いだ異空間—北前船寄港地・船主集落—」関連の展覧会(共催:鶴岡市北前船日本遺産推進協議会/協力:秋田県にかほ市教育委員会・秋田県由利本荘市教育委員会)。越前瓦・船箪笥・船往来手形・船絵馬・アットウシなど計20点出品。期間中、3市連携によるギャラリートークや記念講演を行った。

(2)個展・グループ展示事業

於:美術展覧会場

- ①第43回 鶴岡書道会会員展(共催) R5.1月5日～1月22日(12日間)
入場者数:一般 511名／児童生徒学生 66名／計 511名
昭和8年に設立された鶴岡市にあり流派を越えて活動する書道団体。会員の作品27点を展示鑑賞した。

(3)ロビー展示事業 ※主催は各団体

於:旧鶴岡警察署庁舎ホール

- ①第15回「砂の会」作品展 11月3日～11月6日(4日間)
入場者数:一般 527名／児童生徒学生 25名／計 552名
加藤景一氏が主宰する「砂の会」会員3名が制作した作品計30点を展示、砂を素材にした砂絵や立体作品など個性豊かな作品発表の場とした。

- ②第17回 東洋蘭展(鶴岡東洋蘭同好会と共催) R5.3月18日～3月22日(5日間)
入場者数:一般 565名／児童生徒学生 40名／計 605名
日本春蘭と中国春蘭あわせて約100鉢を展示鑑賞、終日、出品者の鶴岡東洋蘭同好会会員が説明や質問に応じるなど好評を博した。

2-2教育普及事業

(1)講演会・講座事業

- ①記念講演会、企画特別展のギャラリートーク、ワークショップ、制作実演

4月23日(土)/5月14日(土) 於:展示会場 「徳川四天王筆頭 酒井忠次」展の
ギャラリートーク 解説:菅原義勝主任学芸員 2回の参加者計45名

6月11日(土)/7月10日(日) 於:展示会場 「中興の祖・酒井忠徳と庄内藩校致道館」展の
ギャラリートーク 解説:佐藤 淳主任学芸員 2回の参加者計55名

8月7日(日)/8月20日(土) 於：展示会場 「民衆のチカラ～三方領知替え阻止運動～」展
ギャラリートーク 解説：菅原義勝主任学芸員 2回の参加者計 40名

9月10日(土)/25日(日)/10月16日(日) 於：展示会場 「藩祖・酒井忠勝」展
上林恒平刀匠による「銘切り」の制作実演

9月11日(日)/10月15日(土) 於：展示会場 「藩祖・酒井忠勝」展 ギャラリートーク
解説：本間 豊学芸部長 2回の参加者計 50名

9月24日(土) 於：旧西田川郡役所 1階 「藩祖・酒井忠勝」展コラボイベント
おつきいこんのすけ撮影会 参加者 100名

9月24日(土) 於：御隱殿 奥座敷 「藩祖・酒井忠勝」展関連
上林恒平刀匠トークイベント 参加者 20名

10月2日(日)/10月29日(土) 於：旧鶴岡警察署庁舎一階ホール 「藩祖・酒井忠勝」展
「はじめての刀剣講座～鑑賞からお手入れ方法まで～」
講師：矢口秀春氏（日本美術刀剣保存協会庄内支部理事） 2回の参加者計 21名

11月26日(土)/12月10日(土) 於：展示場 「酒井家の明治維新～戊辰戦争と松ヶ岡開墾～」展
ギャラリートーク 解説：佐藤 淳主任学芸員 2回の参加者 45名

12月17日(土) 於：旧鶴岡警察署庁舎1階ホール 「酒井家の明治維新～戊辰戦争と松ヶ岡開墾～」展
記念講演会 講師：今野章氏（鶴岡市郷土資料館） 「幕末の庄内藩」 参加者 35名

R5.2月11日(土) 鶴岡市・にかほ市・由利本荘市3市連携交流企画展「北前船」3市連携ギャラリートーク 講師：升川繁敏氏（鶴岡市史編纂委員）/斎藤一樹氏（にかほ市教育委員会文化財保護専門員）/三原裕姫子氏（由利本荘市教育委員会生涯学習課課長補佐）参加者 40名

3月5日(日)/3月26日(日) 於：御隱殿 「第29回鶴岡雛物語」展の雛菓子作り体験
講師：住吉屋菓子舗 2回の参加者計 89名

3月11日(土) 於：展示会場 「新収蔵品展～刀剣・美術工芸品を中心に～」ギャラリートーク解説
解説：本間 豊学芸部長 参加者 10名

3月18日(土) 於：御隱殿 「第29回 鶴岡雛物語」展のギャラリートーク
解説：佐藤 淳主任学芸員 参加者計 27名

3月18日(土)～19日(日) 於：御隱殿 「第29回 鶴岡雛物語」展イベント
へんしんおひなさま（雛衣装の着付け親子イベント） 参加者計 20名

3月25日(土) 鶴岡市・にかほ市・由利本荘市3市連携交流企画展「北前船」特別講演会
演題「加茂の歴史と魅力」講師：升川繁敏氏（鶴岡市史編纂委員） 参加者 60名

※日本美術刀剣保存協会庄内支部との共催事業として

10月23日(日) 於：旧鶴岡警察署庁舎 斎藤清人碑前祭 祭礼ほか 参加者 計 21名

(2) 出版事業

各展覧会図録・解説書（「徳川四天王筆頭・酒井忠次」・「中興の祖・酒井忠徳と庄内藩校致道館」・「民衆のチカラ～三方領知替え阻止運動～」「藩祖・酒井忠勝」「酒井家の明治維新～戊辰戦争と松ヶ岡開墾～」）と出品目録・リーフレット・ポスター・ポストカード等

(3) 広報事業

①広報活動 企画展の広報活動

入部 400 年記念展第 1 部から第 5 部まで、庄内日報の協力により、展示資料や歴史を解説する寄稿を行った。各種事業については新聞・テレビ・ミニコミ誌などの報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に努め、また、新聞広告や看板、ポスター掲示、インターネット(ホームページ・ツイッター)などを活用して周知を図った。

3. 公益目的事業 3 (事業内容～国指定史跡旧致道館(旧庄内藩校)や鶴岡市指定文化財大宝館の管理運営の委託を受けて、一般公開の展示や関連する教育普及活動を行う事業)

3-1 史跡旧致道館(旧庄内藩校)の保存管理活用事業

指定管理制度により、鶴岡市教育委員会との契約によって管理運営受託法人として管理運営し、国指定文化財の保存活用を図った。

(1) 施設保存管理事業

- ① 外構管理 除草・清掃、芝刈り、生垣の剪定、樹木の剪定・整枝・刈込、防(駆)虫剤散布、雪吊り・雪用い、樹木用支柱の取替え修理、泮池の清掃を行った。
- ② 建造物管理 講堂・御入間・聖廟・廟門・表御門・西御門・東御門の日常点検・清掃、防災設備(自動火災報知器・消火器)の保守点検を実施した。平成 25 年度から夜間及び休館日の防犯等は、警備保障会社へ委託して行っている。消防訓練は 1 回実施し、また地震などの災害時に対する予防・災害対策を定期的に確認した。
- 利用者の安全・安心を確保するために「旧致道館危機管理マニュアル」の徹底を図った。
御入之間(御次之間、御三之間、御台子之間、廊下)の畳 52 枚を表替えした。

(2) 展示事業

- ① 藩校致道館の沿革・教育精神・学校制度・積算・施設などに関する史料を展示、隨時キャッシュの改訂を行った。
- ② 御入間で資料理解の一助と雰囲気づくりとして致道館流「論語の素読」を BGM で流し、床の間には致道博物館所蔵の致道館関係遺墨の掛軸を 3 ヶ月毎に展示替えした。
- ③ 酒井家庄内入部 400 年記念企画「藩政時代をたどる～入部から幕末まで～」を展示した。

(3) 普及教育事業

- ① 藩校致道館教育体験教室・講座
庄内論語素読体験講座 7 月 30 日(土)、7 月 31 日(日)
「江戸時代の学校『致道館』の学びを体験しよう！」をテーマに、小学生から一般を対象として開催した。(参加者 34 名)
- ② 酒井家庄内入部 400 年記念事業「論語素読検定」の実施 (致道館文化振興会議と共に)
8 月 7 日(日) 参加者 25 名 合格者：上級 4 名 中級 5 名 初級 15 名
- ③ 「孔子祭・致道館の日」式典 (主催：致道館文化振興会議)
9 月 24 日(土) 於：庄内神社参集殿 (新型コロナ感染拡大防止のため会場変更)
内容／祭典・祝文奉読・論語素読・講経、講演、児童生徒論語体験作文発表会
- ④ 研修会・講座(主催・各種団体)
【研修会等】
慶應大学鶴岡キャンパス「鶴岡文化論」 酒井家ゆかりのまちなかめぐり
資生堂グローバルイノベーション未来開発研究所 退職公務員連盟鶴岡田川支部
鶴岡市新採教員初任者研修 歴まちづくり 景観形成研修 他計 18 件
羽黒高校インターンシップ

【修学旅行等】

- 県立鶴岡高等養護学校 1 年生
- 三川町立横山小学校 3 年生

高畠町立和田小学校 6 年生

他計 13 件

【視察】

- 国土交通省東北地方整備局
- 秋田県北秋田市議會議員

国土交通省東北地方整備局建政部長等

慶應義塾大学伊藤塾長・昭和大学学長他

鹿児島県鹿屋市議会議員視察

他 計 7 件

【致道館についての学習・庄内論語の素読】(鶴岡市内小・中学校)

鶴岡市立朝陽第一小学校 3 年生

鶴岡市立あさひ小学校 3 年生

鶴岡市立朝陽第一小学校 6 年生

鶴岡市立鶴岡第一中学校 2 年生

鶴岡市立西郷小学校 6 年生

鶴岡市立鶴岡第三中学校ほほえみ学級

鶴岡市立櫛引西小学校 3 年生

鶴岡市立藤島中学校 1 年生 他

鶴岡市立鼠ヶ関小学校 6 年生

[講師 富樫恒文統括文化財保護指導員 小学校 15 校 18 学年 中学校 3 校 計 943 名]

※ 鶴岡市三瀬保育園 年長組 「庄内論語の素読」 4 月～3 月 年間 10 回

※ 城南幼稚園 年長組 「庄内論語の素読」 2/28

⑤ 朝陽第三小学校 「日本文化伝統クラブ」 庄内論語の素読 講師

⑥ 山形大学農学部 「地域から学ぶ …致道館の教育精神と学びの継承…」 講師

⑦ 旧致道館関係書籍の頒布、特に『親子で楽しむ庄内論語』を多く頒布した。

⑧ 広報活動…新聞・テレビ等の報道機関や鶴岡市広報などに資料提供や取材協力依頼に対応した。

3-2 鶴岡市指定文化財大宝館の保存管理活用事業

指定管理者制度により鶴岡市教育委員会と契約を結び、管理運営受託法人として大宝館の管理運営を行い、市の有形文化財の保存活用を図った。

(1) 施設保存管理事業

①外構管理 建物（玄関）周囲の草むしり、玄関脇と県道沿いの「大宝館説明板」の清掃、建物周辺の除雪

②建造物並びに館内管理

- ・建物周囲点検、高山櫻牛誕生の間、横光利一と千代の部屋、中田喜直ピアノ日常清掃、バルコニー除雪 荒天による建物の影響を確認、報告。
- ・防災設備（自動火災報知機・消火器）の保守点検を実施した。
- ・夜間及び休館日の防犯等は警備保障会社へ委託して行った。
- ・消防訓練は 1 月 24 日に実施し、予防災害対策を確認した。

③新型コロナウイルス感染症の対応

前年度に引き続き、令和 4 年 12 月 8 日までは、入館者への対応や新型コロナウイルス感染症対策について以下の通り実施した。受付にて入館者へ連絡先記入のお願い、手指消毒液の設置、館内の換気、受付カウンターや手摺等の消毒、順路パネルの設置、新型コロナウイルス感染症対策ポスターの掲示、当面の展示解説中止または資料等を活用した必要最小限の解説、振舞万力の使用禁止。12 月 9 日からは、鶴岡市教育委員会社会教育課の指導により、入館手続き時の個人情報の記入は行わないようにした。

(2) 展示事業

①第 45 期常設展示（4 月 1 日～R5. 3 月 31 日）

【展示終了人物】無し 【移動展示人物】無し

②第 45 期企画展示（4 月 1 日～R5. 3 月 26 日）

「酒井家庄内入部 400 年記念 酒井忠明展 ~今もなほ 殿と呼ばれる ことありて」

名譽市民コーナーで展示実績のある酒井忠明(1917～2004)を中心として、明治以降の酒井家の当主、酒井忠篤(1853～1915)、酒井忠宝(1856～1921)、酒井忠良(1888～1962)について、経済や文化面において地域貢献をした功績や、書画等の優れた作品を通じての文人として的一面などを紹介。

③第 2 期横光利一展示 「新感覚派時代～『上海』のころ」

2 階展示室において、第 1 期＜横光と鶴岡＞から第 2 期＜新感覚派時代～『上海』のころ＞に 6 月 22 日に展示替えを実施。

④特別展示 2 階西展示室において継続して「庄内戊辰の役～酒井恒率いる第二番大隊の戦い～」を展示。

(3) 普及教育事業

①イベント

・■大宝館夏休みイベント■

【テーマ】クイズ「忠明様をさがせ！」【期間】8月4日～8月21日

【対象】市内の小学生及びその家族 【参加人数】195名

【内容】企画展示「酒井忠明」展や、鶴岡公園内の石碑などに関連した出題に対して
答える形式。初級・中級・上級と3段階のレベルを設け選択制とした。

■酒井家庄内入部400年記念 ミュージアム連携企画

【タイトル】庄内ミュージアムスタンプラリー 【期間】4月14日～11月30日

■致道博物館×「刀剣乱舞ONLINE」コラボ企画 刀剣男士「信濃藤四郎」等身大パネル展示

【期間】9月10日～10月31日

■大宝館ライトアップ■

「世界糖尿病デー ブルーライトアップ」(11月11日～17日)

「鶴岡冬まつり 大宝館ライトアップ」(12月23日～R5.2月28日)

②広報活動

新聞・テレビ・コミュニティ誌など報道機関への資料提供や取材協力依頼に務め、周知を図った。大宝館企画展については、マスコミ以外に鶴岡市内の各自治会での回覧や、コミセンでのフライヤーの配布を依頼するなど、市民への直接的な広報の働きかけを実施した。

また社会教育課からの指導により、広報活動の一環として8月よりtwitterの公式アカウントを開設し、日々情報発信を行っている。

③配布物 「第45期大宝館展示」マスコミ各社・周辺施設・デガム・旅行会社各社・コミセン・自治会「大宝館夏休みイベント」 鶴岡市内小学校・周辺施設・マスコミ各社

④解説業務 来館者の要請に応じて、施設の由来や館内のご案内、企画展などの解説を中心に行なった。修学旅行や校外学習の際は、口頭での解説を補完する情報伝達手段として、学年別に理解の段階を考慮した資料を作成したものを配布するように工夫した。また、周辺の観光情報や食事処・交通機関等について適切な資料を作成して館内に掲示し、お客様が情報を検索しやすい工夫を行なっている。

⑤その他 人物調査、関連人物情報のスクラップ。常設展示の候補人物や、年度毎の企画展示のテーマや人物に関して、インターネットや新聞記事、書籍等によって情報収集を行なっている。

4. 収益事業1 (事業内容～入館者への利便提供のための軽食喫茶の運営及び博物館関連の書籍やグッズ等の販売)

4-1 収益事業

(1) 博物館関連商品販売等事業

受付に隣接して書籍等コーナーを作り販売を行なった。

酒井家庄内入部400年記念オリジナルコラボグッズの再販（パーカー・Tシャツ・エコバック）及び新たにクリアファイル・マスクケースのセットを制作し、店頭・オンラインショップにて販売。

お酒の取り扱いを再開。博物館オリジナルラベルを作成し、昨年11月より販売開始した。秋の「藩祖・酒井忠勝展」会期中の「城菓飯めぐり」の開催に合わせ、コラボ菓子を店頭で販売した。

(2) その他

庶務の概要

令和5年3月31日現在

1. 役員に関する事項

五十音順・敬称略

役員名	氏名	備考	役員名	氏名	備考
(理事 11名)					
代表理事	酒井 忠久	(公財)日本美術刀剣保存協会会长	〃	加藤 捷男	鶴岡信用金庫会長
理事	植松 芳平	鶴岡市文化財保護審議会会长	〃	金井 昌弥	(株)莊内銀行取締役・常勤等委員
〃	伊藤 彰	(公財)東北振興研修所理事長	〃	上林 恒平	刀匠・山形県指定無形文化財保持者
〃	國井 美保	NPO公益のふるさと創り鶴岡代表	〃	菅野 滋	(公財)山形美術館館長
〃	酒井 天美	学校法人城南学園理事長	〃	斎藤 拓	白毫社委員長
〃	酒井 忠順	(公財)本間美術館評議員・東北公文大評議員	〃	菅井 崇広	(株)きらやか銀行鶴岡中央支店長
〃	田中 章夫	(公財)本間美術館館長	〃	布川 敦	鶴岡市教育委員会教育長
〃	沼澤 紀恵	鶴岡市教育委員会社会教育課長	〃	橋本 政之	致道館文化振興会議会長
〃	東山 昭子	鶴岡市芸術文化協会会长	〃	堀 誠	松ヶ岡開墾場理事長
〃	本間 豊	(公財)致道博物館芸術部長	(監事 2名)		
〃	三矢 正士	致道館文化振興会議事務局長	監事	氏家 昇一	松岡(株)代表取締役会長
(評議員 15名)					
評議員	生島 信行	山形県立博物館長	(顧問 3名)		
〃	石原 純一	鶴岡観光協会会长	顧問	皆川 治	鶴岡市長
〃	上野 隆一	出羽商工会長	〃	田中 尚	前鶴岡織物工業協同組合理事長
〃	遠田 達浩	田川地区高等学校長会代表(鶴岡南高校長)	〃	犬塚 幹士	前鶴岡市文化財保護審議会会长
〃	大沼 賀世	寒河江市文化財審議員			

※参与 加藤 徹三 同 酒井 英一

2. 役員会に関する事項

■理事会

開会月日	議事内容	会議の結果
令和4年6月9日	(1)令和3年度事業報告の件 (2)令和3度収支決算の件 (3)令和3国指定文化財管理費補助事業収支決算及び 令和4年度同事業収支予算の件 (4)令和3年度重要文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業 (災害復旧)報告及び収支決算の件 (5)定期評議員会開催の日時・場所・議案承認の件 (6)理事補充候補者推薦承認の件 (7)評議員補充候補者推薦承認の件 (8)ARTS for the future! 2(コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の支援事業)申請の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 承認 承認 可決承認
令和5年2月3日	(1)令和4年度補正予算の件 (2)令和5年度事業計画の件 (3)令和5年度収支予算の件 (4)令和4年度震文化財(建造物)旧西田川郡役所保存修理事業(災害復旧)報告 及び収支決算の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認

■評議員会

開会月日	議事内容	会議の結果
令和4年6月23日	(1)議事録署名人選出の件 (2)令和3年度事業報告の件 (3)令和3年度収支決算の件 (4)理事補充選任の件 (5)評議員補充選任の件 ※その他（理事会決議事項の報告） ①令和3年度国指定文化財管理費補助事業報告及び収支決算並びに令和4年度同事業事業計画及び収支予算の件 ②令和3年度重文旧西田川郡役所（建物）保存修理事業（災害復旧）報告及び収支予算の件	可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 可決承認 了承 了承

■執行役会議 每月1回開催（4月11日、5月11日、6月7日、7月8日、8月9日、9月14日、10月12日、11月14日、12月12日、令和5年1月10日、1月30日、3月9日） 計12回

■監査 6月6日（令和3年度会計監査）

3. 申請及び許可・認可・承認並びに届出等に関する事項

提出月日	宛所	内 容	備考
4月1日	山形県知事	令和4年度山形県博物館共催事業申請書	4月1日付で承認
〃	〃	令和4年度山形県博物館共催事業負担金交付申請書	4月5日付で交付決定
〃	鶴岡市教育委員会	令和4年度教育関係事業（致道博物館展示事業）共催承認申請書	4月1日付で承認
〃	鶴岡市長	令和4年度致道博物館展示事業共催負担金交請求書	
〃	（公財）山形県生涯学習文化財団理事長	令和4年度文化団体等連携支援事業（展覧会事業）共催申請書	4月1日付で承認
〃	〃	令和4年度文化団体等連携支援助成金交付申請書	4月1日付で交付決定
〃	鶴岡市長	令和4年度補助金等交付申請書（令和4年度鶴岡市文化資源調査保存事業）	同上
〃	山形県知事	令和4年度国指定文化財（旧西田川郡役所/旧渋谷家住宅/酒井氏庭園/旧鶴岡警察署庁舎）管理費補助事業申請書（4件）	同上
〃	鶴岡市長	令和4年度国指定文化財（旧西田川郡役所/旧渋谷家住宅/酒井氏庭園/旧鶴岡警察署庁舎）管理費補助事業申請書	同上
〃	山形県知事	令和4年度山形県文化財保護事業費補助金交付申請書（重文（建造物）旧西田川郡役所保存修理事業（災害復旧））	同上
〃	鶴岡市長	令和4年度鶴岡市文化財保護事業補助金交付申請書（重文（建造物）旧西田川郡役所保存修理事業（災害復旧））	同上
〃	〃	普通・行政財産借受申請書 及び 財産貸付料減免申請書（松ヶ岡開墾場4番蚕室収蔵の開墾・農業関連資料、農具等の保管）	4月1日付け認可
4月8日	文化庁長官	計画変更承認申請書（重文（建造物）旧西田川郡役所保存修理事業（災害復旧））	4月28日付け承認
4月24日	鶴岡市長	令和3年度補助金保存事業実績報告書（鶴岡市文化資源調査保存事業）	4月25日付で確定通知
4月25日	文化庁長官	名勝 酒井氏庭園の現状変更（赤松の伐採）について	5月13日付で許可
4月26日	文化庁長官	係官派遣申請書（重文（建造物）旧西田川郡役所保存修理事業（災害復旧））	
〃	山形県観光文化スポーツ部 文化振興文化財課長	職員の派遣について（重文（建造物）旧西田川郡役所保存修理事業（災害復旧））	
4月28日	山形県知事	令和4年度山形県文化財保護事業費補助金計画変更承認申請書（重文（建造物）旧西田川郡役所保存修理事業（災害復旧））	4月28日付け承認

4月 28日	鶴岡市長	令和4年度補助事業等変更申請書 (重文〈建造物〉旧西田川郡役所保存修理事業〈災害復旧〉)	
4月 30日	山形県知事	令和3年度山形県博物館共催事業実績報告書	5月29日付で交付確定
〃	鶴岡市長	令和3年度致道博物館展示事業実績報告書	
〃 3月31日付で提出	(公財)山形県生涯学習文化財 団理事長	令和3年度文化団体等連携支援事業実績報告書	5月31日付で交付確定
6月 13日	鶴岡市消防長	防火体制に関する意見書の提出(お願い)	6月17日付で交付
6月 20日	山形県教育委員会	所在の場所変更届 (「民衆のチカラ展」出品の県文「保定記・続保定記及び印旛沼日記」計1件)	
〃	鶴岡市教育委員会	所在の場所変更届 (「民衆のチカラ展」出品の市文「天保義民関係史料」 1件)	
6月 21日	(公財)山形県生涯学習文化財団	令和4年度文化団体等連携支援助成金請求書	
6月 24日	致道博物館評議員	評議員就任のお願い及び就任承諾書他提出のお願い	
〃	致道博物館理事	理事就任のお願い及び就任承諾書他提出のお願い	
6月 30日	山形県知事	令和4年度国宝・重要文化財等保存・活用事業費補助金実績 報告書 (重文〈建造物〉旧西田川郡役所保存修理事業〈災害復旧〉)	7月29日付で確定通知
〃	山形県知事	令和4年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書 (重文〈建造物〉旧西田川郡役所保存修理事業〈災害復旧〉)	7月19日付で確定通知
〃	鶴岡市長	令和4年度補助事業等実績報告書 (重文〈建造物〉旧西田川郡役所保存修理事業〈災害復旧〉)	6月30日付け確定通知
〃	文化庁長官	名勝酒井氏庭園の現状変更(赤松の伐採)の終了報告について	
7月 4日	鶴岡市長	令和4年度補助金等状況報告書(令和4年度鶴岡市文化資源調査保存事業-7月中旬報告)	
〃	山形県知事	所有者変更届 (鶴岡市小花氏の寄贈刀剣:脇指・短刀・刀 計4口)	7月6日付で受領
7月 19日	鶴岡市消防長	消防用設備等 (特殊消防用設備等) 点検結果報告書(自動火災報知設備)	7月9日付で受理
8月 11日	山形県教育委員会	所在の場所変更届 (「藩祖・酒井忠勝展」出品の県文〈割高台茶碗〉1件)	8月11日付け受理
8月 11日	鶴岡市教育委員会	所在の場所変更届 (「藩祖・酒井忠勝展」出品の市文〈鰐口〉他計8件)	
〃	長野県教育委員会	長野県宝公開承認申請書 (「藩祖・酒井忠勝展」に松代城本丸残置諸道具目録1点)	8月19日にて承認
8月 22日	長野市教育委員会	長野市指有形文化財公開承認申請書 (藩祖・酒井忠勝展) に 「東光寺文書 8点」	
10月 2日	山形県教育委員会	令和4年度山形県国指定文化財(略)管理費補助事業の状況報告	
10月 13日	鶴岡市長	令和4年度補助金等状況報告書(令和4年度鶴岡市文化資源調査保存事業-10月中旬報告)	
〃	山形県知事	所在の場所変更届出書 (「酒井の明治維新展」に縫箔 1領)	
10月 28日	鶴岡市消防長	消防用施設等(自動火災報知設備他)点検報告書(庄内米作り収蔵庫)	10月28日付で受理
11月 22日	文化庁長官	文化芸術振興費補助金 (コロナ禍からの文化芸術活動の再興 支援事業) 交付申請書 ※電子申請	12月6日付で交付決定
12月 16日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(今年度第1回防火訓練実施計画)	12月16日付で受付
〃	鶴岡市消防長	喫煙等承認申請書 (重文旧渋谷家住宅内の囲炉裏で火焚き煙出し 作業をするための承認申請書)	12月23日付で承認
R5.1月10日	文化庁長官	文化芸術振興費補助金 (コロナ禍からの文化芸術活動の再興 支援事業) 実績報告書 ※電子届出	
R5.1月12日	鶴岡市長	令和4年度補助金等状況報告書(令和4年度鶴岡市文化資源調査保存事業-1月中旬報告)	
1月 13日	鶴岡市消防長	消防訓練通報書(第69回文化財防火デー/第2回防火訓練実施計画)	1月13日付で受付

2月24日	鶴岡市消防長	消防用設備等（特殊消防用設備等）点検報告書（動力ボンブ）	2月24日付け受理
3月26日	山形県知事	令和4年度山形県文化財保護事業費補助金実績報告書(国文化財4件)	4月7日付確定通知
3月26日	鶴岡市長	令和4年度補助金等実績報告書 (鶴岡市国指定文化財管理費補助事業-国文化財4件)	4月7日付確定通知

4. 資料貸出に関する事項

貸出期間	貸出先	使用目的と貸出資料
2月27日～5月31日	史跡藩校致道館	展示資料として犬塚甘古筆「隸書 積金箴言」 1点
3月18日～11月30日	市立藤沢周平記念館	特別展「藤沢周平が描いた庄内藩」に「戦功覚書き」他 計5点
3月24日～R5.3月29日	大宝館(人物資料館)	特別展「酒井忠明展」に酒井忠篤・忠宝・忠良・忠明筆の書幅
3月25日～6月20日	創童社(仙台市青葉区)	東北電力グリーンプラザ企画展「庄内藩酒井家展」に「酒井家世紀」他 計4点
4月1日～R3.3月31日	県立金峰少年自然の家	常設展示に岡山遺跡・杉ヶ沢遺跡出土の土器・石器 17点
4月1日～R3.3月31日	鶴岡市教育委員会	旧藩校致道館常設展示に被仰出書、版木など関係資料 34件
4月1日～R3.3月31日	山形県立博物館	常設展示に遊佐町吹浦遺跡出土の縄文土器深鉢 1点
4月1日～R3.3月31日	山形県郷土館「文翔館」	常設展[最上川は語る]にハネバンドリ 1点
4月23日～5月31日	今井アートギャラリー	「殿様の書」に酒井忠篤・忠宝・忠良・忠明筆の書幅 10点
5月1日～6月30日	史跡藩校致道館	展示資料として「紙本着色 孔子像」 1点
6月1日～7月5日	ギャラリーなご美	「殿様の書」酒井忠篤・忠宝・忠良・忠明筆書幅 11点
6月30日～9月12日	本間美術館	企画展「江戸時代の絵画-百花繚乱の画家たちの競演-」展に伊藤若冲「鶏図」他 計2点
7月1日～9月30日	史跡藩校致道館	展示資料として白井重固筆「錢起 七絶 帰雁」 1点
8月2日～12月20日	山形県立博物館	アート企画展「女神たちの饗宴」に硬玉類(玉川遺跡出土)1式及び砥石(同)1点
8月6日～9月20日	今井アートギャラリー	「酒井忠明作品展」に書幅 2点
9月8日～12月19日	ふくやま芸術文化財団	「水野勝成と徳川四天王」展に、国宝太刀銘信房作、県文黒糸威二枚胴具足他計10点。
9月26日～12月3日	大井沢自然博物館	企画展「蓑のデザイン」に、ニショイミノ他 計4点
10月2日～R5.1月9日	史跡藩校致道館	展示資料として白井重明筆「杜甫 飲中八仙歌」 1点
11月26日～R5.2月9日	県立うきたむ風土記の丘考古資料館長 渋谷孝雄	土器の拓本・実測のため、三崎山出土縄文土器片 25点、同A地点出土土器片 41点
11月12日～R5.2月7日	新庄ふるさと歴史センター	企画展「生きる民具、民藝への潮流」にハネバンドリ他 計15点
11月17日～R5.2月23日	市立藤沢周平記念館	企画展〈「海坂藩もの」に庄内藩〉に庄内竿他、計9点
11月17日～R5.1月10日	多摩美術大学UTB	東京ミッドタウン・デザイナーズ 第100回企画展に仕事着 3着
1月10日～4月9日	史跡藩校致道館	展示資料として聖像(孔子像) 1点
2月6日～4月13日	市立藤沢周平記念館	企画展〈「海坂藩もの」に庄内藩〉に「戦功覚書き」 1点

5. その他の事項

月 日	主な事項
4月14日	酒井家庄内入部400年記念事業開始式を館内駐車場の実施（出席40名）。
5月19日	文化庁・江島祐輔調査官(建造物)来館、重文旧西田川郡役所災害復旧工事について協議・視察。

5月23日	山形県観光文化スポーツ部文化振興文化財課（2名）より令和3年度山形県博物館事業(展覧会事業)共催負担金の会計検査の実施。
5月30日	重文旧西田川郡役所災害復旧工事の竣工検査を実施。
6月21日	名勝酒井氏庭園奥の倒木した赤松の処理及び御隱殿中庭の赤松を伐採。
7月14日	山形県議会議員（文教部会）の視察。
7月 9日	鶴岡中央高校インターンシップ（3名）受け入れ。
8月23日	館内設置の自動放水銃の放水試験テストを実施。
9月22日	重文旧渋谷家住宅の茅葺き屋根の差し茅作業始まる（9/29まで）
9月28日	NHK 8 Kテレビの放映（御隱殿及び酒井氏庭園の中継）
10月4日	羽黒高校インターンシップ（4名）受け入れ。
10月8日	酒井家庄内入部400年記念式典開催（於：莊銀タクト）翌9日に莊内大祭（莊内神社及び鶴岡公園周辺）。
10月14日	山形県観光文化スポーツ部文化振興文化財課（2名）より公益法人の監査を実施。
10月23日	刀匠藤原清人碑前祭（日本美術刀剣保存協会庄内支部主催／旧鶴岡警察署庁舎ホールにて）。
10月27日	低濃度P C B廃棄物の収集運搬の実施。
12月27日	第1回防火訓練（避難・通報訓練） 11名参加。
1月 5日	NHK大河ドラマ「どうする家康」関連の等身大パネルを受付休憩室に設置（1月15日迄）
1月12日	重文旧渋谷家住宅内にて冬期保存活動のため「火焚き」作業開始（3月16日まで）
1月26日	第69回文化財防火デー・第2回防火訓練（総合訓練） 11名参加
2月/6日	友の会世話人会開催（旧鶴岡警察署庁舎ホールにて 20名出席）
2月15日	御隱殿の鶴ヶ岡城模型のリニューアル工事始まる（4月15日迄）。

資料-1 入館者数(月別)

■致道博物館

(単位:名)

月	年度	一般			学生		小中学生 有料者	招 待	合 計
		個人	団体	友の会員	有料者	友の会			
4月	4年度	1,878	110	409	51	1	76	61	2,586
	前年度	1,208	75	341	63	101	182	44	2,014
5月	4年度	3,539	259	494	266	20	1,006	168	5,752
	前年度	918	77	274	50	11	93	45	1,468
6月	4年度	1,915	278	409	30	6	424	111	3,173
	前年度	762	63	426	70	127	392	194	2,034
7月	4年度	1,962	321	420	64	2	407	103	3,279
	前年度	1,205	184	292	65	1	393	161	2,301
8月	4年度	2,187	208	376	175	3	246	56	3,251
	前年度	1,444	76	329	113	10	131	51	2,154
9月	4年度	2,770	351	400	332	43	322	74	4,292
	前年度	2,090	92	437	135	13	546	60	3,373
10月	4年度	3,317	691	574	131	41	624	127	5,505
	前年度	2,280	159	353	196	5	2,470	272	5,735
11月	4年度	2,083	706	403	68	3	742	125	4,130
	前年度	1,874	311	295	606	15	1,507	217	4,825
12月	4年度	569	203	247	29	2	169	44	1,263
	前年度	377	36	157	18	0	114	24	726
1月	4年度	340	0	210	15	2	80	6	653
	前年度	216	77	111	9	0	109	25	547
2月	4年度	537	26	276	22	35	20	31	947
	前年度	235	192	167	27	0	7	9	637
3月	4年度	1,857	140	753	125	38	110	144	3,167
	前年度	941	21	532	136	2	97	99	1,828
合計	4年度	22,954	3,293	4,971	1,308	196	4,226	1,050	37,998
	前年度	13,550	1,363	3,714	1,488	285	6,041	1,201	27,642

■松ヶ岡観覧施設

(単位:名)

月	年度	一般		学生	小中学生	招 待	合 計
		個人	団体				
4月	4年度	285	20		26	65	396
	前年度	145			12	74	231
5月	4年度	370	65	0	222	20	677
	前年度	156	0	0	18	2	176
6月	4年度	215	22	11	135	33	416
	前年度	116			73	39	228
7月	4年度	232	103	13	6	33	387
	前年度	169			19	11	199
8月	4年度	204		2	30	6	242
	前年度	167			31	11	209
9月	4年度	333	113		7	13	466
	前年度	143			87	80	310
10月	4年度	314	100	0	43	43	500
	前年度	301			86	61	448
11月	4年度	229	51	0	183	27	490
	前年度	234	24	59	78	67	462
12月	4年度	60	29	0	0	7	96
	前年度	47	22		36	9	114
1月	4年度	26				2	28
	前年度	8				3	19
2月	4年度	28	58	0	2	32	120
	前年度	4				9	13
3月	4年度	82	414	0	7	4	507
	前年度	25			2	7	34
合計	4年度	2,378	975	26	661	285	4,325
	前年度	1,515	46	59	445	378	2,443

資料-1 入館者数(月別)

■庄内藩校 致道館

(単位:名)

月	年度	一般	学生	幼少中	合計
4月	4年度	1,600	9	76	1,685
	前年度	923	8	65	996
5月	4年度	2,124	41	276	2,441
	前年度	745	20	83	848
6月	4年度	1,421	12	337	1,770
	前年度	627	2	279	908
7月	4年度	1,461	15	94	1,570
	前年度	932	8	60	1,000
8月	4年度	1,552	38	178	1,768
	前年度	1,045	22	118	1,185
9月	4年度	1,807	54	154	2,015
	前年度	1,162	13	70	1,245
10月	4年度	2,513	31	362	2,906
	前年度	1,528	125	347	2,000
11月	4年度	1,751	35	359	2,145
	前年度	1,355	379	957	2,691
12月	4年度	937	13	146	1,096
	前年度	277	4	88	369
1月	4年度	259	7	60	326
	前年度	147	0	22	169
2月	4年度	381	9	62	452
	前年度	182	2	32	216
3月	4年度	1,090	56	64	1,210
	前年度	451	12	34	497
合計	4年度	16,896	320	2,168	19,384
	前年度	9,374	595	2,155	12,124

■大宝館

(単位:名)

月		一般	学生	幼少中	合計
4月	4年度	2,361	30	152	2,543
	前年度	1,160	21	160	1,341
5月	4年度	2,436	180	269	2,885
	前年度	728	8	79	815
6月	4年度	1,191	11	61	1,263
	前年度	455	6	248	709
7月	4年度	1,231	14	45	1,290
	前年度	784	11	39	834
8月	4年度	1,395	23	242	1,660
	前年度	849	17	168	1,034
9月	4年度	1,591	108	85	1,784
	前年度	1,016	17	36	1,069
10月	4年度	2,130	33	284	2,447
	前年度	1,271	127	258	1,656
11月	4年度	1,376	23	46	1,445
	前年度	967	44	501	1,512
12月	4年度	672	16	9	697
	前年度	234	14	3	251
1月	4年度	221	1	7	229
	前年度	232	1	13	246
2月	4年度	393	5	10	408
	前年度	351	7	4	362
3月	4年度	1,072	20	82	1,174
	前年度	566	21	35	622
合計	4年度	16,069	464	1,292	17,825
	前年度	8,613	294	1,544	10,451

資料-2 致道博物館 入館者総数

年度	大人	学生	年度合計
昭和25年(1950)	2,071	8,285	10,356
昭和26年(1951)	3,015	8,485	11,500
昭和27年(1952)	5,759	11,590	17,349
昭和28年(1953)	4,903	9,650	14,553
昭和29年(1954)	8,152	31,120	39,272
昭和30年(1955)	11,348	38,363	49,711
昭和31年(1956)	13,806	45,046	58,852
昭和32年(1957)	20,872	39,447	60,319
昭和33年(1958)	25,831	34,825	60,656
昭和34年(1959)	19,937	31,232	51,169
昭和35年(1960)	20,539	29,712	50,251
昭和36年(1961)	23,953	32,764	56,717
昭和37年(1962)	22,178	41,282	63,460
昭和38年(1963)	22,813	39,449	62,262
昭和39年(1964)	21,321	37,016	58,337
昭和40年(1965)	23,411	32,016	55,427
昭和41年(1966)	26,886	32,999	59,885
昭和42年(1967)	24,563	29,266	53,829
昭和43年(1968)	28,205	26,800	55,005
昭和44年(1969)	29,044	27,412	56,456
昭和45年(1970)	28,049	23,043	51,092
昭和46年(1971)	34,001	22,645	56,646
昭和47年(1972)	44,811	28,098	72,909
昭和48年(1973)	63,659	29,888	93,547
昭和49年(1974)	73,725	30,607	104,332
昭和50年(1975)	86,509	32,328	118,837
昭和51年(1976)	88,135	30,113	118,248
昭和52年(1977)	95,706	29,571	125,277
昭和53年(1978)	93,987	25,531	119,518
昭和54年(1979)	107,889	29,429	137,318
昭和55年(1980)	117,722	28,344	146,066
昭和56年(1981)	107,526	25,656	133,182
昭和57年(1982)	130,037	24,961	154,998
昭和58年(1983)	131,477	24,060	155,537
昭和59年(1984)	126,699	26,539	153,238
昭和60年(1985)	135,574	23,802	159,376
昭和61年(1986)	127,461	23,810	151,271
昭和62年(1987)	123,454	22,575	146,029
昭和63年(1988)	124,266	21,612	145,878

年度	大人	学生	年度合計
平成元年(1989)	133,415	19,662	153,077
平成2年(1990)	129,968	23,337	153,305
平成3年(1991)	132,502	20,541	153,043
平成4年(1992)	144,907	16,031	160,938
平成5年(1993)	139,841	15,437	155,278
平成6年(1994)	148,799	21,524	170,323
平成7年(1995)	137,810	12,269	150,079
平成8年(1996)	128,017	9,907	137,924
平成9年(1997)	111,874	9,177	121,051
平成10年(1998)	95,757	8,166	103,923
平成11年(1999)	94,071	6,701	100,772
平成12年(2000)	85,280	5,819	91,099
平成13年(2001)	85,185	6,051	91,236
平成14年(2002)	81,599	5,173	86,772
平成15年(2003)	80,043	5,887	85,930
平成16年(2004)	76,051	4,585	80,636
平成17年(2005)	64,682	4,490	69,172
平成18年(2006)	70,779	4,016	74,795
平成19年(2007)	69,941	4,538	74,479
平成20年(2008)	67,036	4,688	71,724
平成21年(2009)	64,518	4,423	68,941
平成22年(2010)	56,525	3,429	59,954
平成23年(2011)	42,758	4,421	47,179
平成24年(2012)	45,525	3,476	49,001
平成25年(2013)	39,145	3,065	42,210
平成26年(2014)	40,557	3,250	43,807
平成27年(2015)	36,373	3,420	39,793
平成28年(2016)	42,174	4,137	46,311
平成29年(2017)	45,676	4,914	50,590
平成30年(2018)	44,231	4,184	48,415
平成31年(2019)	45,590	4,148	49,738
令和2年(2020)	20,363	4,196	24,559
令和3年(2021)	19,828	7,814	27,642
令和4年(2022)	32,268	5,730	37,998
総計	4,852,382	1,357,977	6,210,359

*1 昭和25年6月14日開館

*2 昭和26年以降の年度事業期間は1/1～翌年3/31

*3 平成6年度の事業期間は1/1～翌年3/31

*4 平成7年度以降の年度事業期間は4/1～翌年3/31

*5 新型コロナウイルス感染拡大防止のため4/6～5/10臨時休館

資料-3 友の会会員数

(単位:名)

	賛助会員	特別会員	普通会員	東京賛助	東京友の会	学生会員	合 計
令和4年度	220	94	1,178	52	130	2,085	3,759
令和3年度	223	100	1,251	51	147	2,116	3,888
増 減	△ 3	△ 6	△ 73	1	△ 17	△ 31	△ 129

資料－4 HPアクセス数(月別)

令和4年度(5月より計測)

	PV	ユニークPV
4月	—	—
5月	9,983	3,719
6月	9,575	3,297
7月	10,481	4,060
8月	14,275	5,564
9月	19,833	6,695
10月	16,207	6,070
11月	9,928	3,738
12月	7,357	3,353
1月	9,641	4,602
2月	9,933	4,421
3月	12,578	5,284
年間	129,791	50,803

*4月予想値4,000-6,000

※PV(ページビュー)=サイト訪問者が閲覧した全てのページ数の合計

(同じ人物が何度もアクセス→その都度PV数としてカウントされる)

※U.PV(ユニークページビュー)=サイト訪問者が閲覧した回数やページ数にかかわらず、1カウント

(何度もアクセスしても、1回のみしかカウントされない)

資料一5 新収蔵美術品

【購入】

No.	種類	作者名	作品名(資料名)	制作年	材質・技法・形状	員数	備考
1	絵画	斎藤墨湖	松竹に鶴之図(行年百一翁筆)	明治初期の作	紙本・着色・軸装	1幅	郷土の画人
2	絵画		山の神図	昭和時代	紙本・着色・軸装	1幅	
3	書跡	酒井忠寛	七言対句「幽谿・深樹」(14歳の書)	江戸時代末期	紙本・墨書・軸装	双幅	12代酒井家藩主

【寄贈】

No.	種類	作者名	作品名(資料名)	制作年	材質・技法・形状	員数	備考
1	絵画	狩野永叔 他	鯉の滝上り図 他	江戸時代	絹本・墨画・軸装	2幅	狩野派 他
2	絵画	酒井忠宝	躊図(戯画)	明治～大正時代	絹本・着色・軸装	1幅	13代酒井家藩主
3	絵画	大滝雨山	江湖舟釣図		紙本・墨画・軸装	1幅	郷土画人
4	絵画	翠洲	日の出に松上の鶴図	大正3年(1914)	紙本・墨画淡彩・軸装	1幅	
5	絵画	石川淡雲(静正)	高士交遊図	明治44年(1911)	紙本・墨画淡彩・六曲屏風	1隻	旧庄内藩士・画人
6	絵画	石川淡僕(静正)	夏山晚霧・山陰雪稜図	大正元年(1914)	紙本・墨画・軸装	双幅	"
7	絵画	石川淡僕(静正)	漁翁図 自画贊	大正4年(1915)	紙本・墨画・軸装	1幅	"
8	絵画	石川淡雲(静正)	山水図	大正8年(1919)	紙本・墨画・軸装	1幅	"
9	絵画	石川淡雲(静正)	秋山紅葉図 自画贊	大正12年(1921)	紙本・墨画着色・軸装	1幅	"
10	絵画	石川淡雲(静正)	山水図(「柳渟漁口 疏崖口暑」)	大正12年(1921)	紙本・墨画・軸装	双幅	"
11	絵画	石川淡雲(静正)	山水紅葉図	明治～大正時代	紙本・墨画・軸装	1幅	"
12	絵画	石川淡雲(静正)	白衣観音図(下絵)	明治～大正時代	紙本・墨画・軸装	1幅	"
13	絵画	石川淡僕(静正)	荘内六景(荘内神社・鶴ヶ岡城址他)	明治～大正時代	紙本・墨画淡彩・マク	6枚	"
14	絵画	石川淡僕(静正)	桜花山居図	明治～大正時代	絹本・墨画淡彩・マク	1枚	"
15	絵画	石川淡僕(静正)	①山水図・②鐘馗図他	明治～大正時代	絹本・墨画淡彩・マク	4枚	"
16	絵画	石川淡僕(静正)	金峯山	明治～大正時代	絹本・油彩・額装	1点	"
17	絵画	石川淡僕(静正)	浅草の夜店	明治～大正時代	絹本・油彩・額装	1点	"
18	絵画	石川淡僕(静正)	彼誰時の森	明治～大正時代	絹本・油彩・額装	1点	"
19	絵画	石川淡僕(静正)	瀑布	明治～大正時代	絹本・油彩・額装	1点	"
20	絵画	石川淡僕(静正)	紫陽花小花図	明治～大正時代	絹本・油彩・額装	1点	"
21	絵画	石川淡僕(静正)	鎧ヶ峰遠望図	明治～大正時代	絹本・油彩・額装	1点	"
22	絵画	石川淡僕(静正)	潮に釣られて	明治～大正時代	絹本・油彩・額装	1点	"
23	絵画	石川淡僕(静正)	夕暮れ・荘内神社・鳥海山 他	明治～大正時代	絹本・油彩・マクリ	4点	"
24	絵画	Toshi Abe	Autumn of country	1910年	紙本・油彩・マクリ	1枚	
25	絵画	石川淡僕(静正)	鳥海山 他	明治～大正時代	紙本・油彩・はがき	10枚	旧庄内藩士・画人
26	絵画	石川淡水(正庸)	詩情秋水図 自画贊	大正4年(1915)	紙本・墨画・軸装	1幅	郷土画人
27	絵画	石川淡水(正庸)	磊塊図(贊:淡僕)	大正5年(1916)	紙本・墨画・軸装	1幅	"
28	絵画	石川淡水(正庸)	暁山雲図	大正12年(1923)	紙本・墨画・軸装	1幅	"
29	絵画	石川淡水(正庸)	梅花図・蘭花図 自画贊	明治～大正時代	紙本・墨画・軸装	双幅	"
30	絵画	石川淡水(正庸)	墨竹図 自画贊	明治～大正時代	紙本・墨画・軸装	1幅	"
31	絵画	石川淡雲・淡水	富士忍地風景図 画贊(合作)	大正2年(1913)	紙本・墨画・軸装	1幅	"
32	絵画	石川淡仙・淡水	山水図(合作:絵・淡仙/贊・淡水)	大正5年(1916)	紙本・墨画・軸装	1幅	"
33	絵画	石川淡雲・石川淡水	合作図屏風	明治34年(1901)	紙本・墨画淡彩・六曲屏風	1隻	"
34	絵画・書跡	石川淡雲・淡水	寄書	明治～大正時代	紙本・墨画淡彩・仮軸装	1幅	"
35	絵画・書跡	石川淡雲・石川梧堂	山水図・七言詩(合作屏風)	大正5年(1916)	紙本・墨画・六曲屏風	1隻	"
36	絵画	石川淡雲 カ	墨竹・蘭図		紙本・墨画・軸装	1幅	
37	書跡	酒井忠良	七言絶句「鳥鳴澗(王維)」		紙本・墨書・軸装	1幅	16代酒井家当主
38	書跡	酒井忠良	「耐雪梅花」他		紙本・墨書・まくり	3枚	"
39	書跡	佐藤鉄太郎	二行書「魚の子はて」		紙本・墨書・軸装	1幅	海軍中将
40	書跡	服部正樹	和歌	江戸時代後期	紙本・墨書・軸装	1幅	郷土歌人
41	書跡	日下部鳴鶴	七言対句「人得交流」(柳田正斎)	明治～大正時代	紙本・墨書・軸装	双幅	近代書家
42	書跡	王 仁爵	一行書「坐臥閑房春草深」	明治時代	紙本・墨書・軸装	1幅	中国・清代の書家
43	書跡	佐藤東藏	一行書 俳句「夏草や」	明治～大正時代	紙本・墨書・軸装	1幅	篆農家・歌人
44	書跡	石川淡雲(静正)	七言詩	明治～大正時代	紙本・墨書・軸装	1幅	郷土画人
45	書跡	石川梧堂(継述)	『江湖風月集』『熙晦機「寄徑山虚谷陵和尚詩」より	大正～昭和時代	紙本・墨書・軸装	双幅	"
46	書跡	石川梧堂(継述)	伊達政宗和歌「見渡せば」	大正～昭和時代	紙本・墨書・軸装	1幅	"

No.	種類	作者名	作品名(資料名)	制作年	材質・技法・形状	員数	備考
47	書跡	不明	篆書 雜書・一行書「鳥倦飛而知還」		紙本・墨書・軸装	2幅	
48	書跡	①酒井忠良 ②酒井忠明	①四大字「實踐躬行」②一行書「中則正満則覆」他 七言詩「奉祝詩」他 / 拓本「楓嶺後跋(猿猴)」訓	大正～昭和時代	紙本・墨書・マクリ	3枚	酒井家
49	書跡	石川梧堂 他			紙本・墨書・拓本・マクリ	18枚	郷土書家
50	書跡	犬塚甘古(又兵)	勅語(教育勅語)		紙本・墨書・軸装	1幅	郷土出身の漢学者
51	書跡	犬塚甘古(又兵)	「七言絶句 張長史…」		紙本・墨書・軸装	1幅	〃
52	書跡	犬塚一瓢(一貞)	「五言絶句 田川山中」		紙本・墨書・軸装	1幅	郷土の漢学者
53	書蹟・絵画	杉村晚翠(兼正)	和歌「瓢たんな」	明治37年(1903)	紙本・墨画・軸装	1幅	郷土ゆかり人物
54	書跡	杉村謙正(晩翠) 他	七言絶句「甘古翁題劍詩」他	昭和47年(1972)	紙本・墨書・まくり	8枚	〃
55	書跡	犬塚甘古 他	犬塚甘古「七言対句」/寒山拾得図(拓本)	明治13年(1880)	紙本・墨書・拓本・マクリ	4枚	郷土出身の漢学者
56	書跡	酒井忠一	二六字「恩讐罪」/七言詩「仰見廬山懲愛風」		紙本・墨書・額装	2面	2代目館長
57	書跡	大井淑子	折帖(貼混)「百人一首 上」「同 下」他		紙本・墨書・折帖	3冊	毎日書道展参与
58	書跡	大井淑子	在原棟梁 和歌「水の上に…」	平成23年(2012)	紙本・墨書・額装	2幅	〃
59	書跡	大井淑子	大伴家持 和歌「もののふの…」他	平成31年(2019)	紙本・墨書・軸装	3幅	〃
60	書跡	大井淑子	斎藤茂吉 和歌「最上川」	昭和54年(1979)	紙本・墨書・二曲屏風	1隻	〃
61	工芸		金沃懸地牡丹鳳凰蒔絵鞘毛抜形太刀拵	江戸時代後期		1腰	太刀銘光の拵
62	工芸		刀 無銘(摩上げ無銘三原)	江戸時代	鑄造り・庵棟	1口	附:打刀拵
63	工芸	国廣	刀 銘洛陽一條堀川住國廣	江戸時代	鑄造り・庵棟	1口	附:軍刀拵
64	工芸	斎藤清人	脇指 銘(表)文久三年莊内土小花業富/調充皇居衛兵京及鱗(裏)特恩賜白金二鯱因界治工 清人作此小佩	文久2年(1862)	平造り・庵棟	1口	附 脇指拵
65	工芸		短刀 無銘		鑄造り・庵棟	1口	附 合口拵
66	工芸	國綱	刀 銘阿州住人國綱作	江戸時代後期	鑄造り・庵棟	1口	
67	工芸		刀 無銘	室町時代後期	鑄造り・庵棟	1口	附 朱漆鞘拵
68	工芸		脇指 無銘(伝村正力?)	室町時代後期	鑄造り・庵棟	1口	酒井家より拵領
69	工芸		脇指 無銘	江戸時代?	鑄造り・庵棟	1口	
70	工芸	藤原豊政	刀 銘藤原豊政	江戸時代前期	鑄造り・庵棟	1口	附:打刀拵
71	工芸	三善長道	脇指 銘陸奥大掾三善長道	江戸時代	鑄造り・庵棟	1口	附:脇指拵
72	工芸		脇指 無銘(寿命)	江戸時代	鑄造り・庵棟	1口	附:脇指拵
73	工芸		刀 銘和泉守兼(以下切)	室町時代後期	鑄造り・庵棟	1口	打刀拵
74	工芸		黒糸威二枚胴具足	江戸時代後期		1領	石川静正所用
75	工芸	在珍	縁頭(牡丹図 赤銅石目地高彫据文 在珍作)	江戸時代後期		1箇	庄内金工
76	その他		陣羽織・羽織他	江戸時代後期		4点	旧藩士石川家所用
77	その他		朱の丸	江戸時代後期	白絹地に朱染	1旒	旧藩士石川家所用
78	その他		雛人形	明治～昭和時代		1括	旧藩士石川家旧蔵

絵画	38件
書跡	25件
工芸品	15件
その他	3件
合 計	81件